

学校コード F129110109215

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

事前相談

注2

奈良女子大学 生活環境学部 文化情報学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良女子大学
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	<small>ケイエイキクカカリチョウ ネリマサヒロ</small> 経営企画係長・堀昌弘
電話番号	0742-20-3692
(夜間)	0742-20-3692
e-mail	hyoka@jim.nara-wu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
 - 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

生活環境学部

<文化情報学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 奈良国立大学機構

(2) 大学名

奈良女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サカキ ヒロユキ) 榊 裕之 (令和4年4月)	—	
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (令和4年4月)	—	
学部長	(ナカヤマ トオル) 中山 徹 (令和4年4月)	—	
学科長等	(ハヤシダ トシコ) 林田 敏子 (令和4年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生活環境学部 文化情報学科 学士（生活環境学）	家政関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係 理学関係 農学関係	4 年	45 人	年次 人	180 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	45 (-) [-]	1.13倍	倍
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	156 (-) [2]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	107 (-) [2]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	53 (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	51 (-) [-]		
入学定員超過率 B/A											1.13		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	51 [-] (-)	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	(記入例) 就学意欲の低下(5人)、他の教育機関への転学(2名) [就職(1人)、除籍(2人)]
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	51人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{51} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>・教育課程充実のため、教養教育科目に以下の科目を追加。 「中国語検定初級Ⅰ」「中国語検定初級Ⅱ」「中国語検定中級Ⅰ」「中国語検定中級Ⅱ」「韓国語初級Ⅰ」「韓国語初級Ⅱ」「韓国語中級Ⅰ」「韓国語中級Ⅱ」「考える力をみがく」「諸学への誘い」「部落史と部落問題」「ベトナムの言語と文化」「哲学の歴史」「現代宗教学への招待」「心の科学への招待」「社会と文化の心理学」「西洋の言語と文化」「西洋の美と芸術」「音楽概説」「地域の人と暮らし」「自然環境の地理学」「奈良と教育—ここはどこ？私は誰？—」「文化と民族」「法学」「政治学」「国際関係論」「経済学」「女性リーダー論」「女性リーダーシップ演習」「奈良を知る」「社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ」「教養としての自然科学A」「教養としての自然科学B」「アメリカ学生研修SEASoN」「数学入門」「教養としての化学数学」「ジェンダー生理学」「固体地球環境学入門」「科学史」「生活と色彩」「ベーシックサイエンスⅠ」「ベーシックサイエンスⅡ」</p> <p>・科目内容に則した名称とするため、「古典を読むⅠ」「古典を読むⅡ」を「古典を読むA」「古典を読むB」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「プラクティカル・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼10」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅠA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「情報処理入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「講師1、兼1」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「ハサージュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1、講師1、兼15」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「講師1、兼7」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「人類史」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼1」から「准教授1、兼6」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授2、准教授1、兼4」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「なら学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「講師1、兼7」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「共生科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「健康・スポーツ科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。</p> <p>・教育内容の充実を図るため、「生命・運動・健康」の専任教員等の配置を、「兼1」から「教授1、兼4」に変更。</p> <p>・学生の受講便宜を図るため、「ことばのしくみ」を「後期」から「前期」に変更。</p>

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	141 科目	1 科目	165 科目	23 科目 [0]	183 科目 [42]	1 科目 [0]	207 科目 [42]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ことばと文化	2	1	一般	選択	隔年開講のため
2	考古科学ゼミ	2	1	一般	選択	隔年開講のため
3	家族援助法	2	1	専門	選択	隔年開講のため
4	生活文化学の方法	2	1	専門	選択	隔年開講のため
5	食生活文化論	2	1	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、選択科目であることから卒業要件としても特段の影響はなく、また隔年で開講することとし在学中の受講機会を確保できていることから学生への影響は無い。これについて、履修ガイドにて学生へ周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{165} = \boxed{3.03}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他には附属学校等 敷地を含む。		
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡			
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡			
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡			
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡			
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡			
(2) 校 舎	専 用	59,979 59,605㎡ (59,979 59,605㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	59,979 59,605㎡ (59,979 59,605㎡)	大学全体 新築したため(4)		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	41室	58室	147室	6室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	生活環境学部 文化情報学科		13 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定が不 能なため、大学全体の 数 図書の新規受入並びに 廃棄のため(4)
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	生活環境学部 文化情報学科	597,704 [162,389] 593,493 [161,566] (597,704 [162,389]) (593,493 [161,566])	18,969 [6,349] 18,387 [6,465] (18,969 [6,349]) (18,387 [6,465])	3,703 [3,703] 3,835 [3,832] (3,703 [3,703]) (3,835 [3,832])	11,226 11,244 (11,226)	1,563 1,475 (1,563) (1,475)	161 (161)	
	計	597,704 [162,389] 593,493 [161,566] (597,704 [162,389]) (593,493 [161,566])	18,969 [6,349] 18,387 [6,465] (18,969 [6,349]) (18,387 [6,465])	3,703 [3,703] 3,835 [3,832] (3,703 [3,703]) (3,835 [3,832])	11,226 11,244 (11,226)	1,563 1,475 (1,563) (1,475)	161 (161)	
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	4,523㎡		175	509,831				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		—	—	—	—	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	奈良女子大学					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<学部>											
文学部						1.06	1.03	-	昭和24	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	学部で一括募集しているため、学科別入学者数は定員で按分し算出している。
言語文化学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	
人間科学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.06	1.03	-	平成7	同上	
(学部共通)			3年次 16	32		-	-	-			
理学部						1.07	1.10	-	昭和28	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	57	-	228	学士(理学)	1.07	1.09	-	平成26	同上	
化学生物環境学科	4	78	-	312	学士(理学)	1.08	1.12	-	平成26	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-				
生活環境学部						1.09	1.11	-	平成5		
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.09	1.03	-	平成17	奈良県奈良市北魚屋西町	
心身健康学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.10	1.11	-	平成26	同上	
情報衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	-	-	平成26	同上	令和4年度から学生募集停止
住環境学科	4	30	-	120	学士(生活環境学)	1.10	1.17	-	平成18	同上	
生活文化学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	-	-	平成18	同上	令和4年度から学生募集停止
文化情報学科	4	30	-	120	学士(生活環境学)	1.10	1.10	-	令和4	同上	
生活文化学コース	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
文化情報学科	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
生活情報通信科学コース	4	15	-	60	学士(生活環境学)	1.20	1.20	-	令和4	同上	
(学部共通)			3年次 4	8		-	-				令和6年度より編入学生受入開始
(食物栄養学除く)											
工学部									令和4	奈良県奈良市北魚屋西町	
工学科	4	45	-	180	学士(工学)	1.07	1.07	-	令和4	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-				令和6年度より編入学生受入開始
大学全体	4	475	40	1980		1.07	1.08				

大学 の 名 称	奈良女子大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
<大学院>											
人間文化総合科学研究科								-	昭和56	奈良県奈良市北魚屋西町	令和2年度から名称変更
人文社会学専攻(博士前期課程)	2	24	-	48	修士(文学)	0.44	0.25	-	平成10	同上	
言語文化学専攻(博士前期課程)	2	18	-	36	修士(文学)	0.73	0.67	-	平成10	同上	
人間科学専攻(博士前期課程)	2	12	-	24	修士(文学)	1.00	1.08	-	平成30	同上	
食物栄養学専攻(博士前期課程)	2	13	-	26	修士(学術)						
					修士(生活環境)	0.89	1.00	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
心身健康学専攻(博士前期課程)	2	22	-	44	修士(生活環境)	0.82	0.86	-	平成30	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
情報環境学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士(生活環境)	1.15	1.30	-	平成30	同上	
					修士(家政学)						
					修士(生活工学)						
生活工学共同専攻(博士前期課程)	2	7	-	14	修士(工学)	1.86	1.57	-	平成28	同上	
					修士(学術)						
住環境学専攻(博士前期課程)	2	13	-	26	修士(生活環境)	1.35	1.38	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
生活文化学専攻(博士前期課程)	2	9	-	18	修士(生活環境)	0.39	0.44	-	平成19	同上	
					修士(家政学)						
					修士(学術)						
数物科学専攻(博士前期課程)	2	28	-	56	修士(理学)	1.20	1.21	-	平成30	同上	
化学生物環境学専攻(博士前期課程)	2	42	-	84	修士(理学)	1.02	1.14	-	平成30	同上	
					修士(学術)						
大学院全体(博士前期課程)	2	198		396		0.94	0.96	-			
人文科学専攻(博士後期課程)	3	12	-	36	博士(文学)	0.41	0.33		令和2	同上	
					博士(社会科学)						
					博士(学術)						
					博士(理学)						
					博士(社会科学)						
生活環境科学専攻(博士後期課程)	3	14	-	42	博士(生活環境学)	0.28	0.21		令和2	同上	
					博士(情報科学)						
					博士(学術)						
自然科学専攻(博士後期課程)	3	10	-	30	博士(理学)	0.53	0.60		令和2	同上	
					博士(学術)						
生活工学共同専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(生活工学)	0.50	0.00		平成28	同上	
					博士(工学)						
					博士(学術)						
大学院全体(博士後期課程)	3	38	-	114		0.40	0.34				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<生活環境学部 文化情報学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	ハシダ トシコ 林田 敏子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		文化情報学概論※ ジェンダー文化論 ジェンダー理論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ ジェンダー文化論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	ジョウ カズキ 城 和貴 (63) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報処理入門Ⅱ 文化情報学概論※ 生活文化と人工知能 文化情報学演習※ 生活と情報理論 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ ソフトウェア工学概論 パターン認識 ソーシャルコンピューティング論 生活と人工知能 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	教授	スズキ(ヨコタ) リコ 鈴木(横田) 則子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 医療社会文化史 生活文化史演習 女性生活史 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	ハシダ トシコ 林田 敏子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門 女性リーダー論 文化情報学概論※ ジェンダー文化論 ジェンダー理論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ ジェンダー文化論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	ジョウ カズキ 城 和貴 (64) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報処理入門Ⅱ 文化情報学概論※ 生活文化と人工知能 文化情報学演習※ 生活と情報理論 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ ソフトウェア工学概論 パターン認識 ソーシャルコンピューティング論 生活と人工知能 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	教授	スズキ(ヨコタ) リコ 鈴木(横田) 則子 (62) <令和4年4月> 博士(学術)
		文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 医療社会文化史 生活文化史演習 女性生活史 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ タカ 野田 隆 (64) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		文化情報学概論※ 生活の情報管理とシステム【隔年】 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 生活文化学の方法【隔年】 社会システム論 社会システム論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	マツモト タカ 松本 尚 (59) <令和4年4月> 博士(理学)
		文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 経営データサイエンス 計算機アーキテクチャ論 計算機ネットワーク 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ オペレーティングシステム論 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	教授	ヤマザキ アキ 山崎 明子 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門 文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 服飾とジェンダー 視覚文化論 視覚文化論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ノダ タカ 野田 隆 (65) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		文化情報学概論※ 生活の情報管理とシステム【隔年】 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 生活文化学の方法【隔年】 社会システム論 社会システム論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	マツモト タカ 松本 尚 (59) <令和4年4月> 博士(理学)
		文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 経営データサイエンス 計算機アーキテクチャ論 計算機ネットワーク 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ オペレーティングシステム論 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	教授	ヤマザキ アキ 山崎 明子 (55) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門 生命・運動・健康 文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 服飾とジェンダー 視覚文化論 視覚文化論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	アトウ(カガセ)カリ 安藤(長瀬)香織 (50) <令和4年4月> 博士(心理学)
		文化情報学概論※ 人間関係文化論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 人間関係論演習 人間関係文化論外書購読 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	マツカ ヒロシ 大塚 浩 (53) <令和4年4月> 法学修士※
		日本国憲法 文化情報学概論※ 消費者法 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 消費者法演習 ライフスタイルと法 インターネットシップ実習(生活文化学) 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	カモ ヒロユキ 鴨 浩靖 (57) <令和4年4月> 博士(情報学)
		文化情報学概論※ プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語演習 離散数学 アルゴリズムとデータ構造 文化情報学演習※ 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	アトウ(カガセ)カリ 安藤(長瀬)香織 (50) <令和4年4月> 博士(心理学)
		バサージュ 文化情報学概論※ 人間関係文化論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 人間関係論演習 人間関係文化論外書購読 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	マツカ ヒロシ 大塚 浩 (53) <令和4年4月> 法学修士※
		日本国憲法 人権と差別 文化情報学概論※ 消費者法 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 消費者法演習 ライフスタイルと法 インターネットシップ実習(生活文化学) 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	カモ ヒロユキ 鴨 浩靖 (57) <令和4年4月> 博士(情報学)
		文化情報学概論※ プログラミング言語Ⅰ プログラミング言語演習 離散数学 アルゴリズムとデータ構造 文化情報学演習※ 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	サワダ 加 澤田 佳世 (48) <令和4年4月> 博士(国際関係学)
		文化情報学概論※ 家族関係論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 人口と家族の社会学 家族関係論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	ニイノ 尚之 新出 尚之 (58) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		情報処理入門Ⅰ 文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 論理回路論 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ 言語処理系論 生活と数理論理学 グラフ理論 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	講師	アオキ ミサ 青木 美紗 (37) <令和4年4月> 博士(学術)
		文化情報学概論※ 食と農の経済学 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 生活経済学 生活経済学演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	サワダ 加 澤田 佳世 (48) <令和4年4月> 博士(国際関係学)
		ジェンダー論入門 文化情報学概論※ 家族関係論 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 人口と家族の社会学 家族関係論演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	ニイノ 尚之 新出 尚之 (58) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		文化情報学概論※ 文化情報学演習※ 論理回路論 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ 言語処理系論 生活と数理論理学 グラフ理論 プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
専	講師	アオキ ミサ 青木 美紗 (38) <令和4年4月> 博士(学術)
		アジア学入門 なら学 文化情報学概論※ 食と農の経済学 文化情報学演習※ 生活文化学入門※ 生活経済学 生活経済学演習 生活文化学演習 生活文化学卒業演習Ⅰ 生活文化学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	ｶﾀ ﾏﾏﾐ 高田 雅美 (44) <令和4年4月> 博士(理学)
		文化情報学概論※ 応用数学Ⅰ(微分積分学) 応用数学Ⅱ(線型代数学) 文化情報学演習※ プログラミング言語Ⅱ データベース論 データベース演習 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
兼担	教授	ﾍﾞｲ ﾋﾛﾔｽ 井上 裕康 (63) <令和4年4月> 医学博士
		食物科学概論※【隔年】
兼担	教授	ﾍﾞｲ ﾖｲｲ 井上 洋一 (64) <令和4年4月> 体育学修士
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ スポーツ実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	ｶﾀ ﾏﾏﾐ 高田 雅美 (44) <令和4年4月> 博士(理学)
		情報処理入門Ⅰ パサージュ 文化情報学概論※ 応用数学Ⅰ(微分積分学) 応用数学Ⅱ(線型代数学) 文化情報学演習※ プログラミング言語Ⅱ データベース論 データベース演習 計算機実験Ⅰ※ 計算機実験Ⅱ※ プログラミング特別演習Ⅰ プログラミング特別演習Ⅱ プログラミング特別演習Ⅲ プログラミング特別演習Ⅳ プログラミング特別演習Ⅴ プログラミング特別演習Ⅵ プログラミング特別演習Ⅶ プログラミング特別演習Ⅷ 情報処理技術特別演習※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
兼担	教授	ｲｶﾞ ﾑｺ 市川 千恵子 (58) <令和4年4月> 博士(人文科学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ
兼担	教授	ﾍﾞｲ ﾋﾛﾔｽ 井上 裕康 (63) <令和4年4月> 医学博士
		食物科学概論※【隔年】
兼担	教授	ﾍﾞｲ ﾖｲｲ 井上 洋一 (64) <令和4年4月> 体育学修士
		スポーツ実習 健康・スポーツ科学
兼担	教授	ｳﾀﾞ ﾓﾄｼ 内田 忠賢 (63) <令和4年4月> 文学修士
		パサージュ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	オビラ サヲ 大平 幸代 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	カワ ヒデミ 小川 英巳 (65) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		「奈良」女子大学入門
兼任	教授	オウ ヤスリ 小倉 裕範 (55) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		食物科学概論※【隔年】
兼任	教授	キザキ ヒロ 菊崎 泰枝 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(生活科学)
		食物科学概論※【隔年】
兼任	教授	コマ(アホ)ショウイチ 駒谷(足穂)昇一 (61) ＜令和4年4月＞ 工学士
		生活と情報倫理 情報と職業
兼任	教授	サイウ ミ 齊藤 美和 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		プラクティカル・イングリッシュ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	オビラ サヲ 大平 幸代 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ アジア学入門
兼任	教授	カウ アヒコ 小倉 伸彦 (59) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		諸学への誘い 人権と差別
兼任	教授	オウ ヤスリ 小倉 裕範 (55) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		食物科学概論※【隔年】 バサージュ
兼任	教授	キザキ ヒロ 菊崎 泰枝 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(生活科学)
		食物科学概論※【隔年】
兼任	教授	コバヤ シン 小林 毅 (63) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B 数学入門
兼任	教授	コマ(アホ)ショウイチ 駒谷(足穂)昇一 (62) ＜令和4年4月＞ 工学士
		生活と情報倫理 情報と職業
兼任	教授	サイウ ミ 齊藤 美和 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サエキ カズヒコ 佐伯 和彦 (64) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		環境と生物
兼任	教授	シバ マサフ 芝崎 学 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人体科学※
兼任	教授	シロノ ミチオ 白水 倫生 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		いのちと健康 生活と健康
兼任	教授	スガ アユミ 須賀 あゆみ (56) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック・イングリッシュ
兼任	教授	スズキヒロミツ 鈴木 広光 (57) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		古典を読むⅠ 古典を読むⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サカイ アツシ 酒井 敦 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		共生科学
兼任	教授	サエキ カズヒコ 佐伯 和彦 (64) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		パサージュ 環境と生物
兼任	教授	シノダ マサト 篠田 正人 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		諸学への誘い
兼任	教授	シバ マサフ 芝崎 学 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人体科学※
兼任	教授	シロノ ミチオ 白水 倫生 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		いのちと健康 生活と健康
兼任	教授	スガ アユミ 須賀 あゆみ (56) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ アカデミック・イングリッシュ
兼任	教授	スズキ コウジ 鈴木 康史 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		パサージュ
兼任	教授	スズキヒロミツ 鈴木 広光 (57) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		諸学への誘い パサージュ 古典を読むA 古典を読むB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高岡 尚子 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	高村 仁知 (60) <令和4年4月> 農学博士
		食物科学概論※【隔年】
兼任	教授	寺岡 伸悟 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		なら学 なら学+ (プラス)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	全有耳 (50) <令和4年4月> 博士(医学)
		諸学への誘い
兼任	教授	高岡 尚子 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ ジェンダー論入門
兼任	教授	高村 仁知 (60) <令和4年4月> 農学博士
		食物科学概論※【隔年】
兼任	教授	高須 夫悟 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサージュ アジア学入門
兼任	教授	高田 将志 (62) <令和4年4月> 理学修士
		人類史 自然環境の地理学 共生科学
兼任	教授	高橋 智彦 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	教授	竹本 憲昭 (59) <令和4年4月> 文学修士
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ
兼任	教授	寺岡 伸悟 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		なら学 なら学+ (プラス) 生命・運動・健康

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ナガヤマ トル 中山 徹 (63) ＜令和4年4月＞ 生活環境学原論
兼担	教授	ナルセ キミ 成瀬 九美 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) 健康・スポーツ科学
兼担	教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ (58) ＜令和4年4月＞ 博士(文学) これからの社会で生きるために
兼担	教授	ニシヤチ セツ子 西谷地 晴美 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(文学) 人類史 環太平洋くろしお文化論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ナガワ シノブ 中澤 静男 (62) ＜令和4年4月＞ 教育学修士 諸学への誘い
兼担	教授	ナジマ タカキ 中島 隆行 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) バサージュ
兼担	教授	ナガヤマ トル 中山 徹 (63) ＜令和4年4月＞ 生活環境学原論
兼担	教授	ナルセ キミ 成瀬 九美 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) 健康・スポーツ科学
兼担	教授	ニシムラ サトミ 西村 さとみ (58) ＜令和4年4月＞ 博士(文学) 「奈良」女子大学入門 なら学 環太平洋くろしお文化論
兼担	教授	ニシムラ ユウイチロウ 西村 雄一郎 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(地理学) アジア学入門 地域の人と暮らし
兼担	教授	ニシヤチ セツ子 西谷地 晴美 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(文学) 人類史 環太平洋くろしお文化論 なら学
兼担	教授	ネト テツオ 根本 哲夫 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) バサージュ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	星ノ サトコ 星野 聡子 (53) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		生命・運動・健康
兼任	教授	ミカ ユウジ 三方 裕司 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学 化学の常識
兼任	教授	ミヅガキ ゲンタロウ 水垣 源太郎 (54) <令和4年4月> 社会学修士※
		社会学
兼任	教授	ミヤジ (マルヤマ) アツコ 宮路(丸山) 淳子 (54) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		考古科学ゼミ
兼任	教授	ムトウ ヤスヒロ 武藤 康弘 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		アジア学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	フジヒラ マチコ 藤平 真紀子 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		共生科学
兼任	教授	星ノ サトコ 星野 聡子 (54) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		健康・スポーツ科学 生命・運動・健康
兼任	教授	マーク スコット Mark Scott (62) <令和4年4月> PhD, English
		プラクティカル・イングリッシュ
兼任	教授	ミカ ユウジ 三方 裕司 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学 化学の常識
兼任	教授	ミヅガキ ゲンタロウ 水垣 源太郎 (55) <令和4年4月> 社会学修士※
		諸学への誘い なら学
兼任	教授	ミヤジ (マルヤマ) アツコ 宮路(丸山) 淳子 (54) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		人類史 考古科学ゼミ [隔年]
兼任	教授	ミヤハヤシ ケンキチ 宮林 謙吉 (55) <令和4年4月> 博士(理学)
		パサーージュ
兼任	教授	ムトウ ヤスヒロ 武藤 康弘 (63) <令和4年4月> 博士(文学)
		アジア学入門 文化と民族 なら学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	やぎの 有吾 柳澤 有吾 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		現代の倫理 人権と差別
兼任	教授	しの 英生 吉岡 英生 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		生活の中の物理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	むらつ かなこ 村松 加奈子 (58) <令和4年4月> 博士(理学)
		共生科学
兼任	教授	もりの 紳哉 森藤 紳哉 (53) <令和4年4月> 博士(数理学)
		パサージュ
兼任	教授	やぎの 有吾 柳澤 有吾 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		人権と差別
兼任	教授	やまの やすし 山下 靖 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ ベーシックサイエンスⅠ ベーシックサイエンスⅡ
兼任	教授	やまの かずき 山本 一樹 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	教授	しの 陽一 遊佐 陽一 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	教授	しの 英生 吉岡 英生 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		生活の中の物理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシダ ヲキヲ 吉田 孝夫 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB
兼任	教授	ヨシムラ(スキウ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		ことばと文化【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ヨシダ ヲキヲ 吉田 孝夫 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB
兼任	教授	ヨシダ ヲヨコ 吉田 容子 (58) <令和4年4月> 博士(文学)
		ジェンダー論入門
兼任	教授	ヨシムラ(スキウ)アキコ 吉村 あき子 (杉浦 哲子) (62) <令和4年4月> 博士(文学)
		ことばと文化【隔年】 コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ
兼任	教授	ヨシムラ トモキ 吉村 倫一 (48) <令和4年4月> 博士(工学)
		教養としての化学数学
兼任	特任 教授	イヌボシ マサ 犬伏 雅士 (62) <令和4年4月> 工学士
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ
兼任	特任 教授	イダ モモコ 伊達 桃子 (56) <令和4年4月> 文学修士
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ
兼任	准教授	アサダ ハルヒサ 浅田 晴久 (41) <令和4年4月> 博士(地域研究)
		アジア学入門 なら学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	オノノウ カリ 小野寺 香 (36) <令和4年4月> 博士(教育学)
		パサーージュ
兼担	准教授	オヤマ シ 尾山 慎 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の言語と文学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	イサガ ユウジ 石坂 友司 (46) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ 健康・スポーツ科学
兼担	准教授	イノウエ ケコ 井上 邦子 (53) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	イワグチ シンイチ 岩口 伸一 (59) <令和4年4月> 医学博士
		パサーージュ
兼担	准教授	オノノウ カリ 小野寺 香 (36) <令和4年4月> 博士(教育学)
		パサーージュ 奈良と教育ーここはどこ？私は誰？ー
兼担	准教授	オヤマ シ 尾山 慎 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の言語と文学
兼担	准教授	キヤマ サトカ 北山 聡佳 (36) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	カガリ (カガタ) ヨシコ 黒川(長田) 嘉子 (48) <令和4年4月> 博士(教育学)
		パサーージュ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	コノ ヒロキ 今野 弘章 (45) <令和4年4月> 博士(言語学)
		プレゼンテーション・イングリッシュ ことばのしくみ【隔年】
兼担	准教授	サトウ(カワシマ)ユキコ 佐藤(川島)有希子 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の美と芸術
兼担	准教授	タカキ 材 田中 希生 (45) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		歴史学
兼担	准教授	ナカガワ 秣 中川 千帆 (49) <令和4年4月> PH.D.(米国)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	コノ ヒロキ 今野 弘章 (45) <令和4年4月> 博士(言語学)
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ プラクティカル・イングリッシュ プレゼンテーション・イングリッシュ ことばのしくみ【隔年】
兼担	准教授	サトウ ヒロキ 佐藤 宏明 (62) <令和4年4月> 学術博士
		なら学
兼担	准教授	サトウ(カワシマ)ユキコ 佐藤(川島)有希子 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本の美と芸術
兼担	准教授	サベ` ミチコ 三部 倫子 (40) <令和4年4月> 博士(社会科学)
		ジェンダー論入門 社会学
兼担	准教授	スキ`ウラ(マツオ) マユミ 杉浦(松尾) 真由美 (46) <令和4年4月> 博士(理学)
		生命・運動・健康
兼担	准教授	タカシマ ヒロシ 高島 弘 (50) <令和4年4月> 博士(工学)
		バサージュ
兼担	准教授	タカキ 材 田中 希生 (45) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		人類史 環太平洋くろしお文化論
兼担	准教授	ナカガワ 秣 中川 千帆 (49) <令和4年4月> PH.D.(米国)
		プラクティカル・イングリッシュ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	ナカダ ヒロキ 中田 大貴 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		人体科学※
兼担	准教授	ナカダ リコ 中田 理恵子 (61) <令和4年4月> 博士(学術)
		食物科学概論※
兼担	准教授	ハラダ マサミ 原田 雅史 (57) <令和4年4月> 工学博士
		衣環境学概論※
兼担	准教授	マエダ スミオ 前田 純夫 (59) <令和4年4月> 農学博士
		食物科学概論※
兼担	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 (41) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語 I 中国語 II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	ナカダ ヒロキ 中田 大貴 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		人体科学※
兼担	准教授	ナカダ リコ 中田 理恵子 (61) <令和4年4月> 博士(学術)
		食物科学概論※
兼担	准教授	ナカヤマ ルミコ 中山 留美子 (40) <令和4年4月> 博士(心理学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	ノブカ マサシ 信川 正順 (39) <令和4年4月> 博士(理学)
		諸学への誘い
兼担	准教授	ハラダ マサミ 原田 雅史 (57) <令和4年4月> 工学博士
		衣環境学概論※
兼担	准教授	マエダ スミオ 前田 純夫 (59) <令和4年4月> 農学博士
		食物科学概論※
兼担	准教授	マエダ マサミ 前田 真砂美 (41) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語 II
兼担	准教授	マツカ ユキ 松岡 由貴 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		ジェンダー論入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	<p>ヤジマ ヨウイチ 矢島 洋一 (51) <令和4年4月> 博士(文学)</p> <p>アラビアの言語と文化</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	<p>ムロサキ (けい) ちか 室崎(稲地) 千重 (47) <令和4年4月> 博士(工学)</p> <p>パサーージュ</p>
兼任	教授	<p>ヤジマ ヨウイチ 矢島 洋一 (51) <令和4年4月> 博士(文学)</p> <p>アラビアの言語と文化 アジア学入門 歴史学 環太平洋くろしお文化論</p>
兼任	准教授	<p>ヤスタク タカ 保田 卓 (53) <令和4年4月> 修士(教育学)</p> <p>人権と差別</p>
兼任	准教授	<p>ヨシカワ ヒロオ 吉川 尚男 (64) <令和4年4月> 医学博士</p> <p>生命・運動・健康</p>
兼任	特任准教授	<p>タカウチ ノブミ 高德 希 (40) <令和4年4月> 博士(学術)</p> <p>健康・スポーツ科学</p>
兼任	講師	<p>クモジマ トモエ 雲島 知恵 (41) <令和4年4月> 博士(英文学)</p> <p>プラクティカル・イングリッシュ アメリカ学生研修SEASoN</p>
兼任	講師	<p>モリタ ヒロコ 森田 尋子 (44) <令和4年4月> 修士(学術)</p> <p>奈良を知る</p>
兼任	特任講師	<p>オオハタ カツヒコ 大賀 克彦 (52) <令和4年4月> 修士(文学)</p> <p>人類史 環太平洋くろしお文化論</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	材効 千明 大高 千明 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人体科学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	材効 千明 大高 千明 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人体科学※
兼任	助教	アサノ トモキ 浅野 友之 (35) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・スポーツ科学
兼任	助教	セト マミ 瀬戸 蘭美 (41) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		教養としての自然科学A 教養としての自然科学B
兼任	助教	ノグチ 克行 野口 克行 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		パサーージュ
兼任	助教	ハチヤ 崇 蜂谷 崇 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生活の中の物理学
兼任	助教	モリタ ユキ 盛田 有貴 (32) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		プラクティカル・イングリッシュ
兼任	特任 助教	ウエムラ ショウヘイ 上村 尚平 (32) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		アメリカ学生研修SEASoN ベーシックサイエンス I
兼任	特任 助教	カイ ユキ 金井 友希美 (31) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	アソウ ヨウコ 麻生 陽子 (37) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	イケダ ナホト 池田 孝利 (60) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		生活と統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	特任 助教	コジタ トシコ 小路田 俊子 (35) <令和4年4月> 博士(理学)
		アメリカ学生研修SEASoN ベーシックサイエンスⅠ
兼任	特任 助教	サイトウ エミ 斉藤 恵美 (40) <令和4年4月> 博士(文学)
		環太平洋くろしお文化論
兼任	特任 助教	ハケ代 ミカ 八ヶ代 美佳 (38) <令和4年4月> 博士(文学)
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ アメリカ学生研修SEASoN
兼任	講師	アソウ ヨウコ 芦名 裕子 (64) <令和4年4月> 文学修士
		現代宗教学への招待
兼任	講師	アソウ ヨウコ 麻生 陽子 (37) <令和4年4月> 博士(文学)
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	アノ サチ 安 善姫 (46) <令和4年4月> 博士(政策科学)
		政治学
兼任	講師	イケダ シンヤ 池田 晋也 (48) <令和4年4月> 修士(文学)
		ドイツ語ⅠA
兼任	講師	イケダ ナホト 池田 孝利 (60) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		生活と統計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	イカワ ユ 石川 由羽 (32) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		情報処理技術Ⅰ 情報処理技術Ⅱ
兼任	講師	イバ(ウチノ)ナコ 板谷(牛谷)直子 (66) <令和4年4月> 博士(学術)
		住生活文化論
兼任	講師	イカミ 稲岡 まみ (50) <令和4年4月> 家政学修士
		被服学実習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	イトウ シンイチ 伊東 真一 (62) <令和4年4月> 商学修士※
		経済政策【隔年】
兼任	講師	ウヤマ ミツル 宇山 満 (67) <令和4年4月> 農学博士
		経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)【隔年】
兼任	講師	オホヒラ ミチ子 大平 美智代 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		ロシア語初級Ⅰ ロシア語初級Ⅱ ロシア語中級Ⅰ ロシア語中級Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	イカワ ユ 石川 由羽 (32) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		情報処理技術Ⅰ 情報処理技術Ⅱ
兼任	講師	アカザリ マリ 赤澤 真理 (42) <令和4年4月> 博士(工学)
		住生活文化論
兼任	講師	イカミ 稲岡 まみ (51) <令和4年4月> 家政学修士
		被服学実習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	イトウ シンイチ 伊東 真一 (62) <令和4年4月> 商学修士※
		経済政策【隔年】
兼任	講師	イトウ レコ 伊藤 令子 (35) <令和4年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ
兼任	講師	ウチノ ナコ 宇野 直子 (43) <令和4年4月> 博士(文学)
		西洋の美と芸術
兼任	講師	ウヤマ ミツル 宇山 満 (67) <令和4年4月> 農学博士
		経済学 経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)【隔年】
兼任	講師	オホヒラ ミチ子 大平 美智代 (60) <令和4年4月> 文学修士※
		ロシア語初級Ⅰ ロシア語初級Ⅱ ロシア語中級Ⅰ ロシア語中級Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カガ トモキ 岡田 朋之 (56) <令和4年4月> 学術修士※
		情報社会学
兼任	講師	カガワ ブンヨウ 香川 文庸 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		社会統計学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カガ トモキ 岡田 朋之 (56) <令和4年4月> 学術修士※
		情報社会学
兼任	講師	ナガタ アスカ 長田 明日華 (29) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史学
兼任	講師	カ イ 何 穎 (58) <令和4年4月> 文学修士
		中国語 I
兼任	講師	カミ ナコ 各務 奈緒子 (48) <令和4年4月> 学術修士
		フランス語 I B
兼任	講師	カガワ ブンヨウ 香川 文庸 (54) <令和4年4月> 博士(農学)
		社会統計学
兼任	講師	キタ ヒロミ 柿本 佳美 (54) <令和4年4月> 博士(文学)
		フランス語 I B 哲学の歴史
兼任	講師	カ マキ 郭 真希 (30) <令和4年4月> 修士(日韓科)
		韓国語初級 I 韓国語初級 II 韓国語中級 I 韓国語中級 II
兼任	講師	カイカ ヤスヒロ 金井塚 康弘 (65) <令和4年4月> 法学士
		人権と差別

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カイ ノヲ 川相 典雄 (67) <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		経済原論Ⅱ(マクロ経済学)【隔年】 消費経済分析論【隔年】
兼任	講師	サカト ヒロコ 坂本 裕子 (68) <令和4年4月> 博士(学術)
		食生活文化論【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カイ アキ 亀井 明子 (45) <令和4年4月> 修士(文学)
		ドイツ語ⅠB
兼任	講師	カイ ノヲ 川相 典雄 (67) <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		経済原論Ⅱ(マクロ経済学)【隔年】 消費経済分析論【隔年】
兼任	講師	キタチ サリ 北口 紗織 (50) <令和4年4月> PhD(University of Leeds)
		生活と色彩
兼任	講師	キム ユキカ 金 幸隆 (50) <令和4年4月> 博士(理学)
		固体地球環境学入門
兼任	講師	コマ ノリコ 小松 紀子 (53) <令和4年4月> 修士(文学)
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB
兼任	講師	カイ マサ 堺 雅志 (55) <令和4年4月> 博士(文学)
		西洋の言語と文化
兼任	講師	サカト ヒロコ 坂本 裕子 (68) <令和4年4月> 博士(学術)
		食生活文化論【隔年】
兼任	講師	シマヅ ヨシコ 島津 良子 (67) <令和4年4月> 文学修士
		部落史と部落問題 人権と差別

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	セネ ミキ 関根 美貴 (60) <令和4年4月> 家政学修士
		生活経営学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	シマト カコ 島本 太香子 (43) <令和4年4月> 医学博士
		ジェンダー生理学
兼任	講師	シマト マイ 杉本 舞 (41) <令和4年4月> 博士(文学)
		科学史
兼任	講師	シヤマ シンペイ 杉山 晋平 (43) <令和4年4月> 修士(教育学)
		考える力をみがく
兼任	講師	セネ ミキ 関根 美貴 (60) <令和4年4月> 家政学修士
		生活経営学
兼任	講師	セヤマ リコ 瀬山 紀子 (47) <令和4年4月> 修士(社会科学)
		女性リーダーシップ演習
兼任	講師	ソウ イク 曹 偉琴 (64) <令和4年4月> 修士(文学)
		中国語検定初級Ⅰ 中国語検定初級Ⅱ 中国語検定中級Ⅰ 中国語検定中級Ⅱ
兼任	講師	タカ マチ 高岡 昌子 (52) <令和4年4月> 博士(学術)
		心の科学への招待
兼任	講師	タケナ アキサ 竹中 章勝 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)
		情報処理技術Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	タミ マリコ 巽 真理子 (52) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		家族援助法【隔年】
兼任	講師	タカ トモ 田中 智子 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		社会事業史【隔年】
兼任	講師	タニガチ ヨシキ 谷口 義昭 (68) <令和4年4月> 博士(農学)
		家庭機械・家庭電気・情報処理
兼任	講師	デヴェッド ステパンズック (63) <令和4年4月> 修士(教育工学)
		Multicultural Society

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	タミ マリコ 巽 真理子 (52) <令和4年4月> 博士(人間科学)
		家族援助法【隔年】
兼任	講師	タカ トモ 田中 智子 (53) <令和4年4月> 博士(文学)
		社会事業史【隔年】
兼任	講師	タニガチ ヨシキ 谷口 義昭 (68) <令和4年4月> 博士(農学)
		家庭機械・家庭電気・情報処理
兼任	講師	ツノ ナミ 辻野 和美 (56) <令和4年4月> 修士(文学)
		健康運動実習Ⅰ 健康運動実習Ⅱ
兼任	講師	ツル ナミ 鶴田 尚美 (53) <令和4年4月> 修士(文学)
		現代の倫理
兼任	講師	デヴェッド ステパンズック (63) <令和4年4月> 修士(教育工学)
		Multicultural Society
兼任	講師	トシ アナ 戸城 杏奈 (42) <令和4年4月> 学士(法学)
		これからの社会で生きるために
兼任	講師	トシ マキ 戸田 真紀子 (58) <令和4年4月> 博士(法学)
		国際関係論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カムラ ジュンコ 中村 順子 (58) <令和4年4月> 博士(学術)
		被服学実習Ⅰ【隔年】
兼任	講師	フジワラ トモコ 藤原 智子 (60) <令和4年4月> 博士(学術)
		調理学実習【隔年】 応用調理学実習【隔年】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カムラ ジュンコ 中村 順子 (58) <令和4年4月> 博士(学術)
		被服学実習Ⅰ【隔年】
兼任	講師	ナカガワ ノブ 中川 統雄 (30) <令和4年4月> 修士(音楽)
		音楽概論
兼任	講師	ノグチ リエ 野口 理恵 (46) <令和4年4月> 博士(文学)
		歴史学
兼任	講師	ハシカ マリコ 島中 茉莉子 (34) <令和4年4月> 博士(学術)
		ドイツ語ⅠB
兼任	講師	ヒラノ アヤカ 平野 綾香 (30) <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		ベトナムの言語と文化
兼任	講師	フジタ アユミ 藤田 あゆみ (55) <令和4年4月> 文学修士
		フランス語ⅠA
兼任	講師	フジワラ トモコ 藤原 智子 (60) <令和4年4月> 博士(学術)
		調理学実習【隔年】 応用調理学実習【隔年】
兼任	講師	マツイ ヨシノリ 松尾 善紀 (52) <令和4年4月> 学士(法学)
		法律学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マツダ ユウコ 松田 侑子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		スペイン語初級Ⅰ スペイン語初級Ⅱ スペイン語中級Ⅰ スペイン語中級Ⅱ
兼任	講師	ヤスカ リョウコ 安川 涼子 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		衣環境学概論※
兼任	講師	ヤマモト ヨウコ 山本 陽子 (68) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		児童学【隔年】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マツカ エツコ 松岡 悦子 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アジア学入門
兼任	講師	マツダ ユウコ 松田 侑子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		スペイン語初級Ⅰ スペイン語初級Ⅱ スペイン語中級Ⅰ スペイン語中級Ⅱ
兼任	講師	マツモト エイジ 松本 栄次 (41) ＜令和4年4月＞ 学士(国際食料情報学)
		これからの社会で生きるために
兼任	講師	ムラカミ フミオ 村上 史朗 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(社会心理学)
		社会と文化の心理学
兼任	講師	モリタ ヨシフミ 森田 芳文 (65) ＜令和4年4月＞ 学士(農学)
		これからの社会で生きるために
兼任	講師	ヤスカ リョウコ 安川 涼子 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		衣環境学概論※
兼任	講師	ヤマシタ ダイスケ 山下 大輔 (36) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語ⅠA
兼任	講師	ヤマモト マサヒル 山本 昌輝 (66) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		児童学【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ヨシイ ナコ 吉井 直子 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		失敗学と創造学
兼任	講師	ヨシダ ナオト 吉田 直人 (31) <令和4年4月> 博士(情報学)
		ヒューマンインターフェース概論
兼任	講師	ヨシダ ナコ 依藤 佳世 (46) <令和4年4月> 博士(心理学)
		ソーシャルリサーチ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ヨシイ ナコ 吉井 直子 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		失敗学と創造学
兼任	講師	ヨシダ ナオト 吉田 直人 (31) <令和4年4月> 博士(情報学)
		ヒューマンインターフェース概論
兼任	講師	ヨシダ ヨコ 吉田 容子 (65) <令和4年4月> 法学士
		人権と差別
兼任	講師	ヨシムラ トモヒロ 吉村 智博 (57) <令和4年4月> 博士(創造都市)
		部落史と部落問題
兼任	講師	ヨシダ ナコ 依藤 佳世 (46) <令和4年4月> 博士(心理学)
		ソーシャルリサーチ論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・令和4年4月 矢島洋一准教授、中田大貴准教授 教授昇任
- ・令和4年4月 大高千明助教（専任）講師昇任
- ・他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更（兼任）小川英巳
- ・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加（兼任）
市川千恵子、内田忠賢、小川伸彦、小林毅、酒井敦、篠田正人、鈴木康史、全有耳、高須夫悟、高田将志、高橋智彦、竹本憲昭、中澤静男、中島隆行、西村雄一郎、根本哲夫、藤平真紀子、Mark Scott、宮林謙吉、村松加奈子、森藤紳哉、山下靖、山本一樹、遊佐陽一、吉田容子、吉村倫一、犬伏雅士、伊達桃子、浅田晴久、石坂友司、井上邦子、岩口伸一、北山 聡佳、黒川 嘉子、佐藤宏明、三部倫子、杉浦真由美、高島弘、中山留美子、信川正順、松岡由貴、室崎（稲地）千重、保田卓、吉川尚男、高德希、雲島知恵、森田尋子、大賀克彦、浅野友之、瀬戸鞠美、野口克行、蜂谷崇、盛田有貴、上村尚平、金井友希美、小路田俊子、齊藤恵美、ハゲ代美佳（兼任）
- ・教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加（兼任）
芦名裕子、安善姫、池田晋也、伊藤令子、宇笠直子、長田明日華、何穎、各務奈緒子、柿本佳美、郭真希、金井塚康弘、亀井明子、北口紗織、金幸隆、小松紀子、堺雅志、島津良子、島本太香子、杉本舞、杉山晋平、瀬山紀子、曹偉琴、高岡昌子、竹中章勝、辻野和美、鶴田尚美、戸城杏奈、戸田真紀子、中川統雄、野口理恵、畠中茉莉子、平野綾香、藤田あゆみ、松尾善紀、松岡悦子、松本栄次、村上史朗、森田芳文、山下大輔、吉田容子、吉村智博
- ・教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更（兼任）
林田敏子、山崎明子、安藤（長瀬）香織、大塚浩、澤田佳世、新出尚之、青木美紗、高田雅美、井上洋一、大平幸代、小倉裕範、齊藤美和、佐伯和彦、須賀あゆみ、鈴木広光、高岡尚子、寺岡伸悟、西村さとみ、西谷地晴美、星野聡子、水垣源太郎、宮路(丸山)淳子、武藤康弘、柳澤有吾、吉田孝夫、吉村あき子（杉浦哲子）、小野寺香、今野弘章、田中希生、中川千帆、前田真砂美、矢島洋一（兼任）宇山満
- ・健康上の理由により「住生活文化論」「児童学」兼任講師の変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	5	2	0	13	0	6	5	2	0	13	0
(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	5	2	0	13	0	6	5	2	0	13	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{13} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和3年)	特に経済学分野や理学分野の学修について、本学科の教育目標に照らして、基礎から応用までを体系的に学修できるよう、科目を充実させるなど教育課程の見直しを検討すること。	遵守事項 令和5年4月1日付で経済学分野を専攻する専任教員を1名採用し、その教員が現状兼任教員担当科目の一部を担当し、隔年開講であった授業科目を毎年開講に変更することで教育課程を充実させる予定である。また、完成年度末までに生活情報通信科学コースに専任助教を1名採用することとし、この教員に数学、情報科学といった理学分野の教育を担当させることで教育課程の充実を図る。その他、教養教育科目として「経済学」「教養としての自然科学A/B」等を新設することとし、基礎的な科目を充実させたところである。	履行中 令和5年4月以降専任教員を補充し、授業科目の充実を図る予定

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生活環境学部 文化情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 奈良女子大学生生活環境学部ファカルティ・ディベロップメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 教授会の開催とあわせ、年1回程度開催。令和3年度は令和4年2月9日に開催。構成員58名中55名参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>一 ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD という。」）の基本方針に関すること。 二 FD の実施及び実施体制に関すること。 三 FD の評価に関すること。 四 その他FD に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 令和3年度は令和4年2月9日に開催。全学的に新たに導入するLMS（Learning Management System）に関し、アクセス方法、コンテンツ、Zoomを使ったオンライン授業の実施方法等について資料をもとに解説がなされた。</p> <p>b 実施方法 動画のプリントアウトを用いた対面での実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 学部構成員58名中55名参加。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 令和4年度の授業がLMSを用いて円滑に実施されており、研修の効果が垣間見えるところである。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 毎年実施。実施時期は前期末と後期末の年2回。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケートの回答は業者に集計を依頼し、集計結果は授業担当教員にフォードバックし、授業改善に役立てている学生からの自由記述コメント等に対しては教員からコメントすることを促しており、教員からのコメントは窓口で学生が自由に閲覧できるようにしている。</p> <p>(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）</p>

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の計画・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年度 公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和9年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。